社說

金論の內幕

政府提出の金貨法案は非常の景氣にて衆議院を通過したり貴族院も多分同樣の次第ならん金銀の說は双方共に利もあれば害もあり金論決して感服す可き筈論敢て排斥す可らず國家百年の利害を考ふれば其取捨甚だ容易ならざるに然るに世間に金論の聲甚だ高くして所謂實業家と稱する輩なるが熱心に賛成を唱ふるは何ぞや或は其所論を聞けば天下國家の爲めなる自から理由あるが如しと雖も是は單に表面の口實にして內實に立入りて事情を詮索すれば全く銘々自身の利益の爲めに過ぎず事實明白疑ふ可らざる所なり昨年の末、東京にて或る商人の失敗より市場に小恐慌を來して一般の影響少なからず株式の如きは次第に下落の一方にして市場の景氣甚だ妙ならず此上、五六圓の瓦落もあらんには到底持ち堪へず代を投出す者も多かりしならん若しも然るときは其影響は單に株式賣買の商人のみに非ず其株式を抵當に金を貸出したる小銀行の如き續々破産するは免かれざるの成行にして是種の社會に取ては恰も危機一髮とも云ふ可き其場合に過般來偶然にも金論の發生に遭ひ株式の塡面、遽に回復の色を呈して危急を救はれたるのみならず次第なれ共し昨今景氣の惡しからざるは金論實行の曉には海外の資本續々入り來りて商賣繁昌の樂を見るべしとの思惑に外ならざる可し如何にも軽躁たる考にして實際に果して然るや否や實業家なる輩なれども兎に角に金論發生の爲めに目前の危急を免かれたるのみならず更らに利したるものも多しと云ふ目下の利益の外に考なき是種の商人の間に於て只管金論を有難しとして之に賛成するも無理ならぬ次第なり現に大阪地方の如き紡績絲を始めとして支那貿易品の製造地なれば金論に就ては利害の關係一方ならず大に考ふ可き筈なるに格別反對の聲も聞かざるは一方に株式騰貴の爲め眼前の利に急にして本案の利害に冷淡の事情もなきに非ずと云ふ彼等の賛成は國家の休戚永遠の得失なぞには全く無頓着にして單に自家の利益に外ならざるを知るに足る可し又その火元なる政府の方面に於て金論發生の次第は如何と云ふに其理由は尤もなるが如く不尤もなるが如く兎に角に一種の說として聞くに足るものありと雖も其內實は單に人氣に投じたる投機類似の政策に外ならざるか如し銀出の膨脹は自然の結果として其不足を補ふの方法は租稅を增して歳入を多くするか外に工風はある可らず分り切たるみとなるに增稅は國內の人氣に可ならず政府不人望の本なりとて優柔不斷、決するを躊躇して公債募集の第手段に出でながら內閣は既に之を試みて其結果はしから ず況して目下の景況にては到底募集なかる可し然らば之を外國に募らんか金貨仕拂の約束を以てすれば目的を遂するに難かりされども若し公然外債の名を付するときは一層の論者よりの實論云々の攻撃も可らず是れ又人氣を損するものなりとて遂に國債募集を止と金貨本位なぞ為すと雖にして外國人に賣るの新路を開き以て國債募集の實を擧げんとの欲するのみ世間には外債募集の實を擧げんとの欲するのみ世間には外債募集の實を擧げんとの欲するのみ世間には外